

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年										2024年										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~6日	10月 ~13日
カンピロバクター	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	15	8 (12)	7
病原性大腸菌	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	23	11 (12)	10
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	0	0
サルモネラ	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	4	1	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	1	0 (1)	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	2	2 (4)	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	0	0	1*
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。  
\*その他は、アエロモナスでした。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第42週(10月14日~10月20日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1		2		2		1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1	1						
四類	9	デング熱	1			1				
		重症熱性血小板減少症候群	1				1			
		日本紅斑熱	5			2			1	2
		レジオネラ症	2					1	1	
五類	13	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3			2		1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1						
		梅毒	9	2	1			5	1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、豊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 マイコプラズマ肺炎

定点当たり7.67人の報告があり、多い状況が続いています。肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症で、小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。

長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.83人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

今年初めての報告が1件ありました。

4 感染性胃腸炎

定点当たり3.26人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を心がけましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	10	0.28	2.98	↓	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.85	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	30	0.83		◇		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.09	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.44		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	5	0.22	0.25			流行性角結膜炎	7	0.88	0.73	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	1.65	1.10	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	75	3.26	2.28	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	3	0.13	0.06			マイコプラズマ肺炎	46	7.67	0.03	◇
	手足口病	34	1.48	1.45	◇		クラミジア肺炎(オウム菌を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	4	0.17	0.40							

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	87	70歳代、80歳代
4	重症熱性血小板減少症候群	1	1	80歳代・市外
4	レジオネラ症	1	18	70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	6	50歳代
5	梅毒	5	137	20歳代・3人、40歳代・2人